

子育てカラークリエイター

第5回

～ものづくり編～

友禅の技法で染色してみよう







～用意するもの～

- 生地
（綿、麻、絹、合成繊維など、なんでも可）
- 型紙（クリアファイルで代用可能）
- 油性マジック（細）
- カッター（デザインカッター）
- カッティングボード
- スプレーのり
- 作業台（スプレーのりをかけられるもの）
- 陶器もしくはガラスのお皿
- 布用絵の具
または（アクリル絵の具&木工用ボンド）
- 刷毛 またはキッチン用スポンジ
- 筆
- キッチンペーパー



- 工程

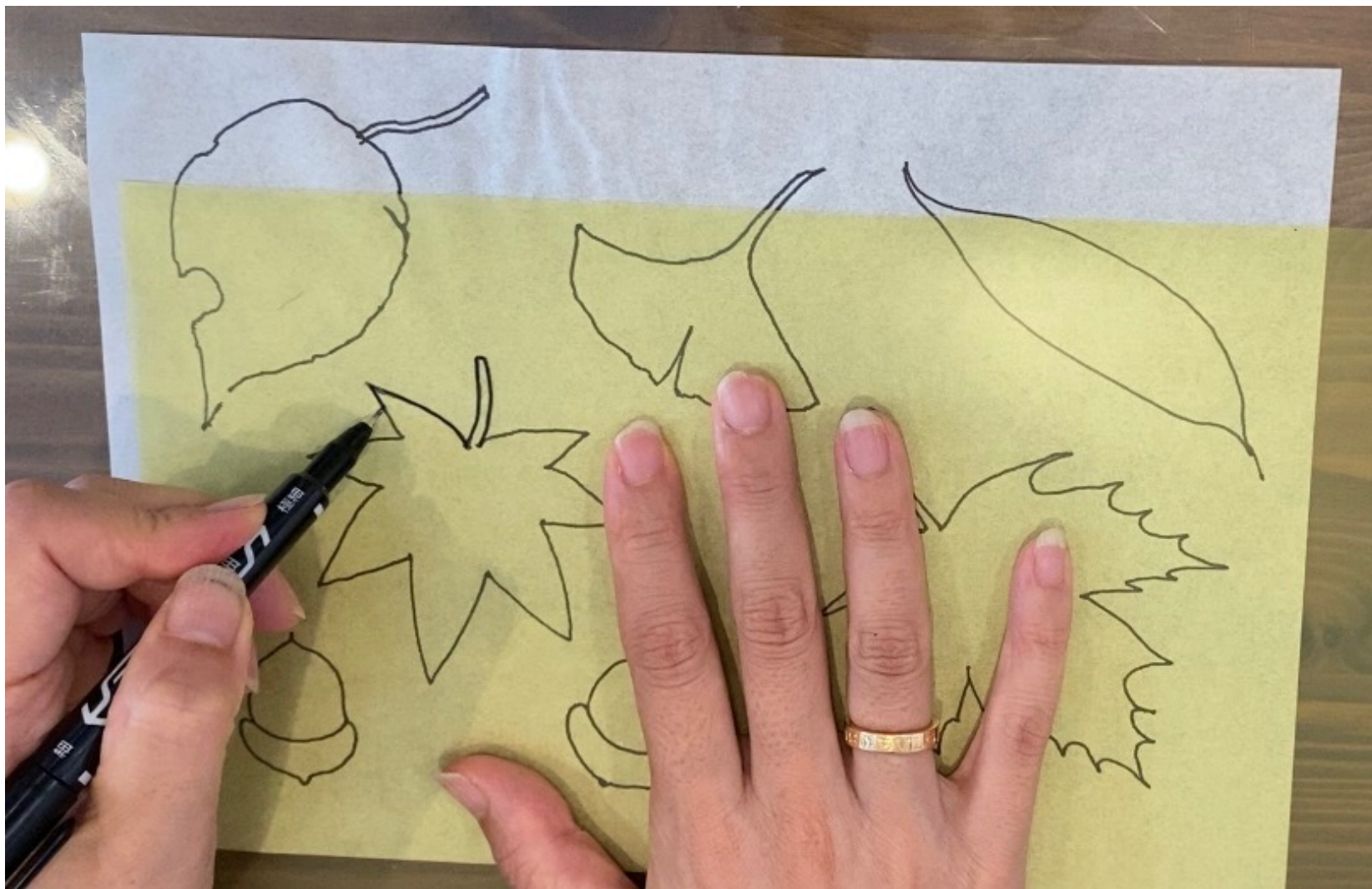
- 図案を型紙（クリアファイル）にトレースする
- カッターで切り抜く
- 生地を台に貼る
- 型紙を生地の上にセットする
- 絵の具（顔料）とスポンジ（刷毛）を準備
- 染める



工程 1

- 図案を型紙（クリアファイル）にトレースする
- クリアファイルをハサミで分解し、適当な大きさにカットする。
- 図案の上にクリアファイルを重ね、油性ペンで図案の輪郭線を写す。

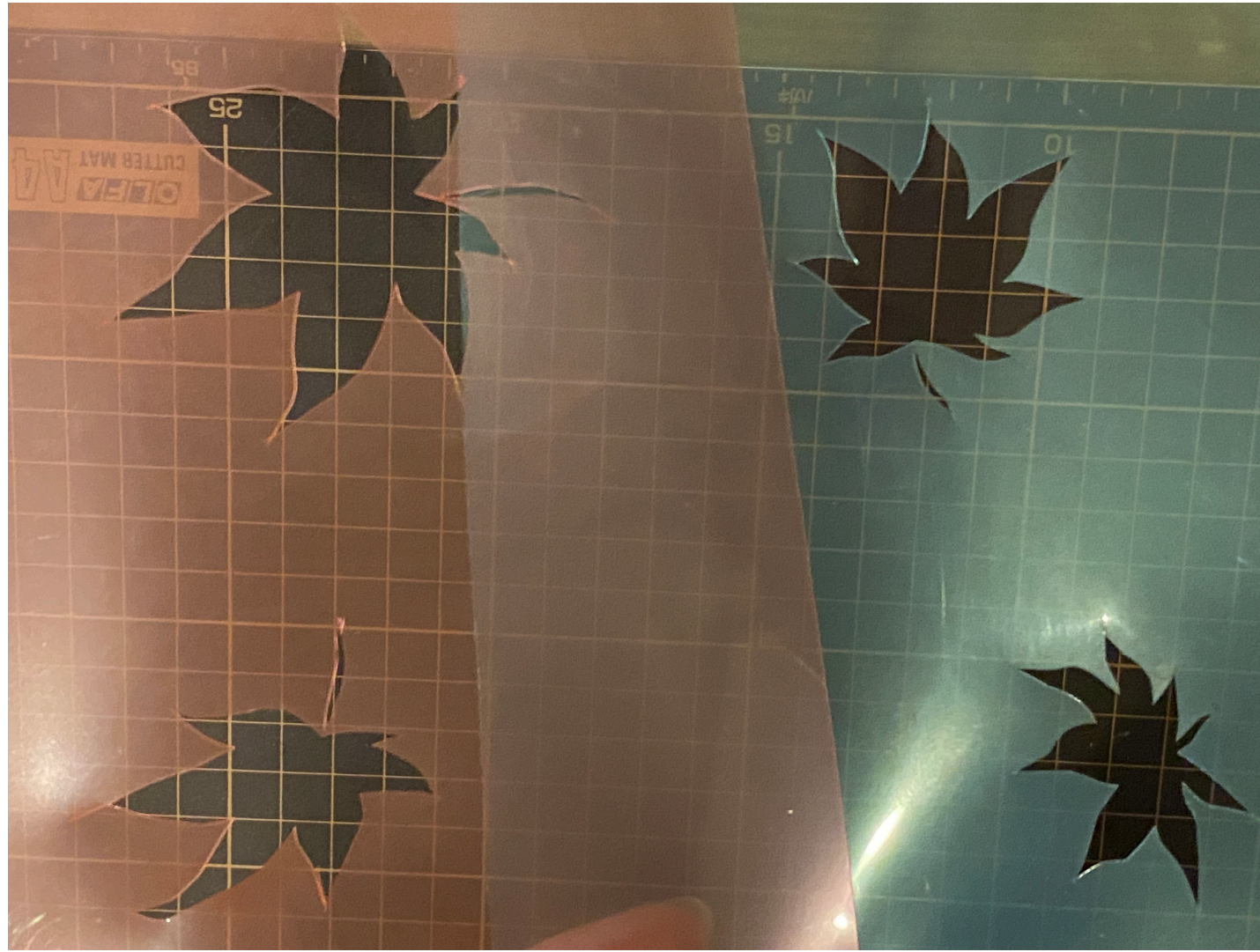




工程2

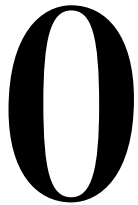
- カッターで切り抜く
- クリアファイルに描いた輪郭線をカッターで切り抜く



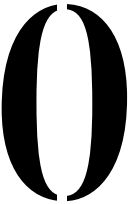


注意点

- カッターで切り抜く



この場合、外側を切り抜くと、内側も全て抜けてしまいます。



目立ちにくい場所に隙間を作る。



注意点

- ・カッターで切り抜く

3



この場合、そのまま切り抜くと数字の内側が捲れやすい。



3

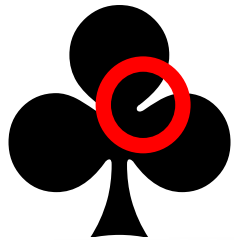


目立ちにくい場所に隙間を作ることで強度を上げる。

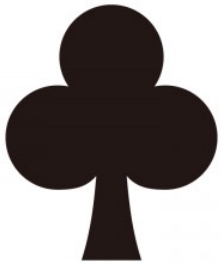


注意点

- カッターで切り抜く



この場合、丸印の部分が捲れやすくなる。



形がわかる範囲で強度を重視してデザインを変更。



注意点

- カッターで切り抜く



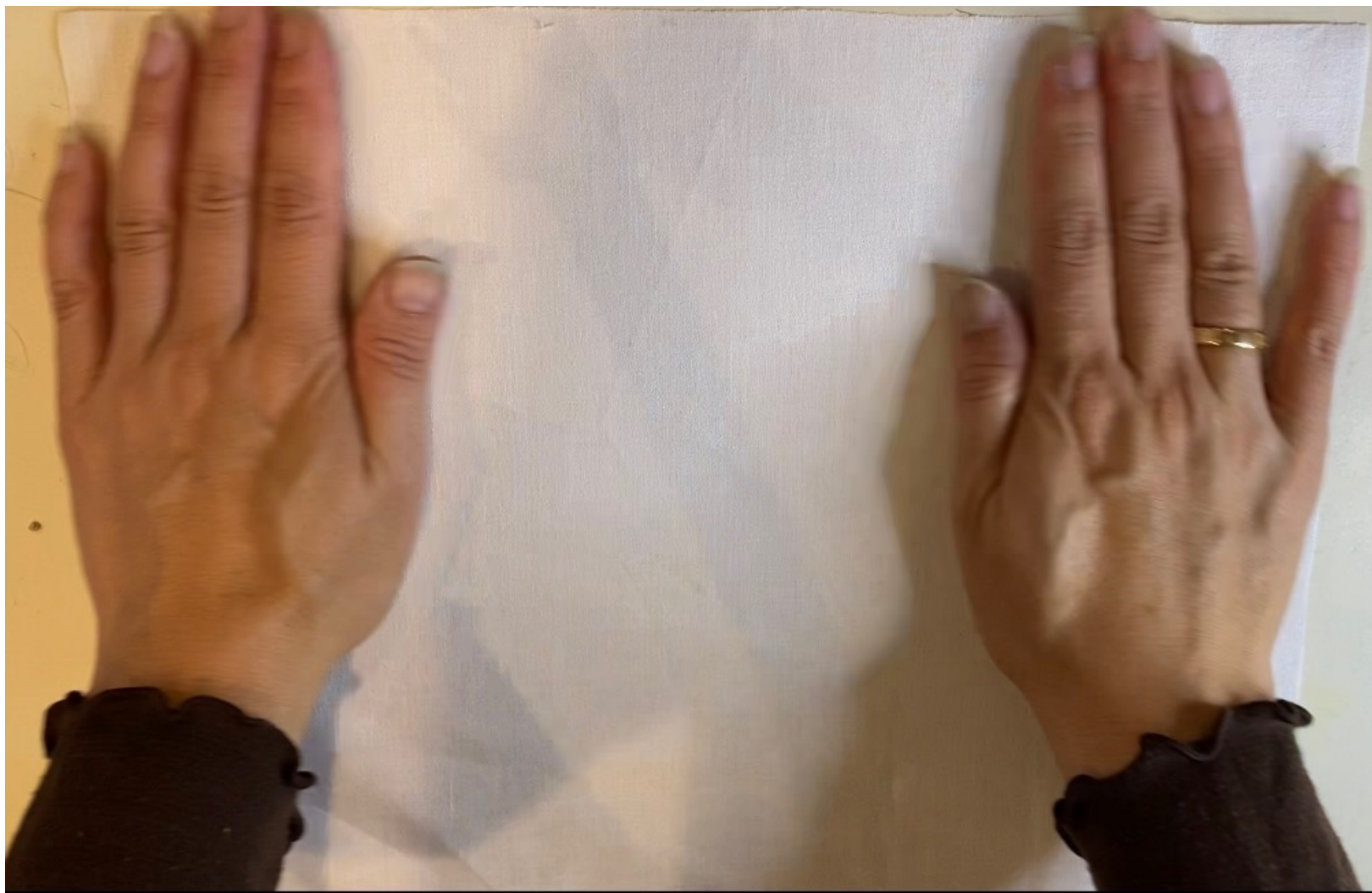
めくれやすい場合、型紙に軽くスプレーのりをして乾かしてから使用すると子供でも使いやすい。



工程 3

- 生地を台に貼る
- 作業板にスプレーのりを吹き付ける
- のりが乾いてから生地を作業板に貼る





工程4

- 型紙を生地の上にセットする

- 先ほど作った型紙を生地の上にセットする

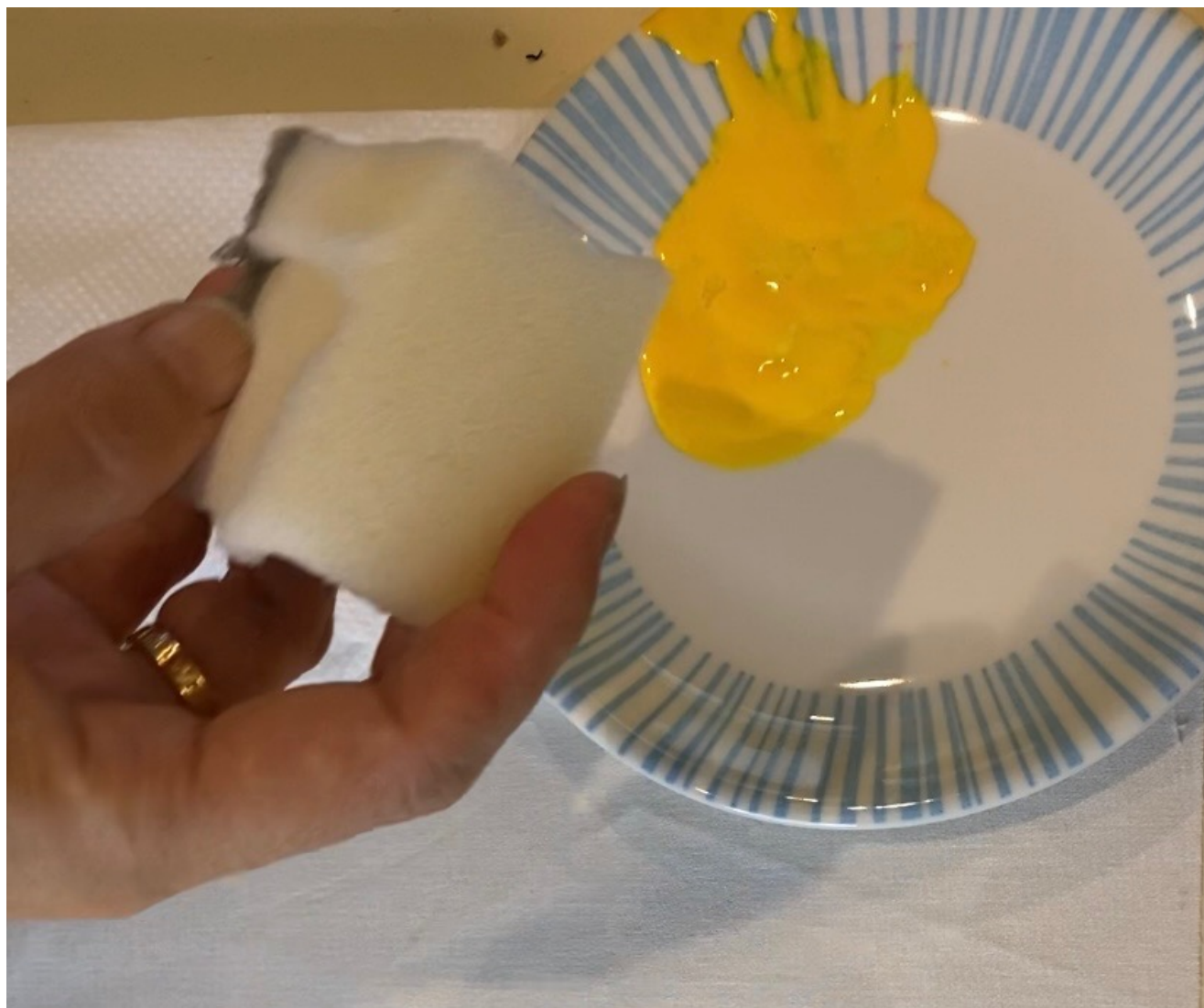
お子様と作業する際は、はみ出したり動いたりしないよう
マスキングテープや画鋏などで固定する





- 工程 5
- 顔料と刷毛を準備
- 陶器、またはガラスのお皿を用意する
- 刷毛を用意
(キッチン用スポンジを代用する際は、4cm²ぐらいの大きさにカット)
- 布用絵の具を用意
(アクリル絵の具の場合、ボンドを1 : 1 の割合で混ぜる)
- 刷毛に絵の具を付ける (豆粒大)
- キッチンペーパーの上で掠れるくらい馴染ませる





- 工程 6

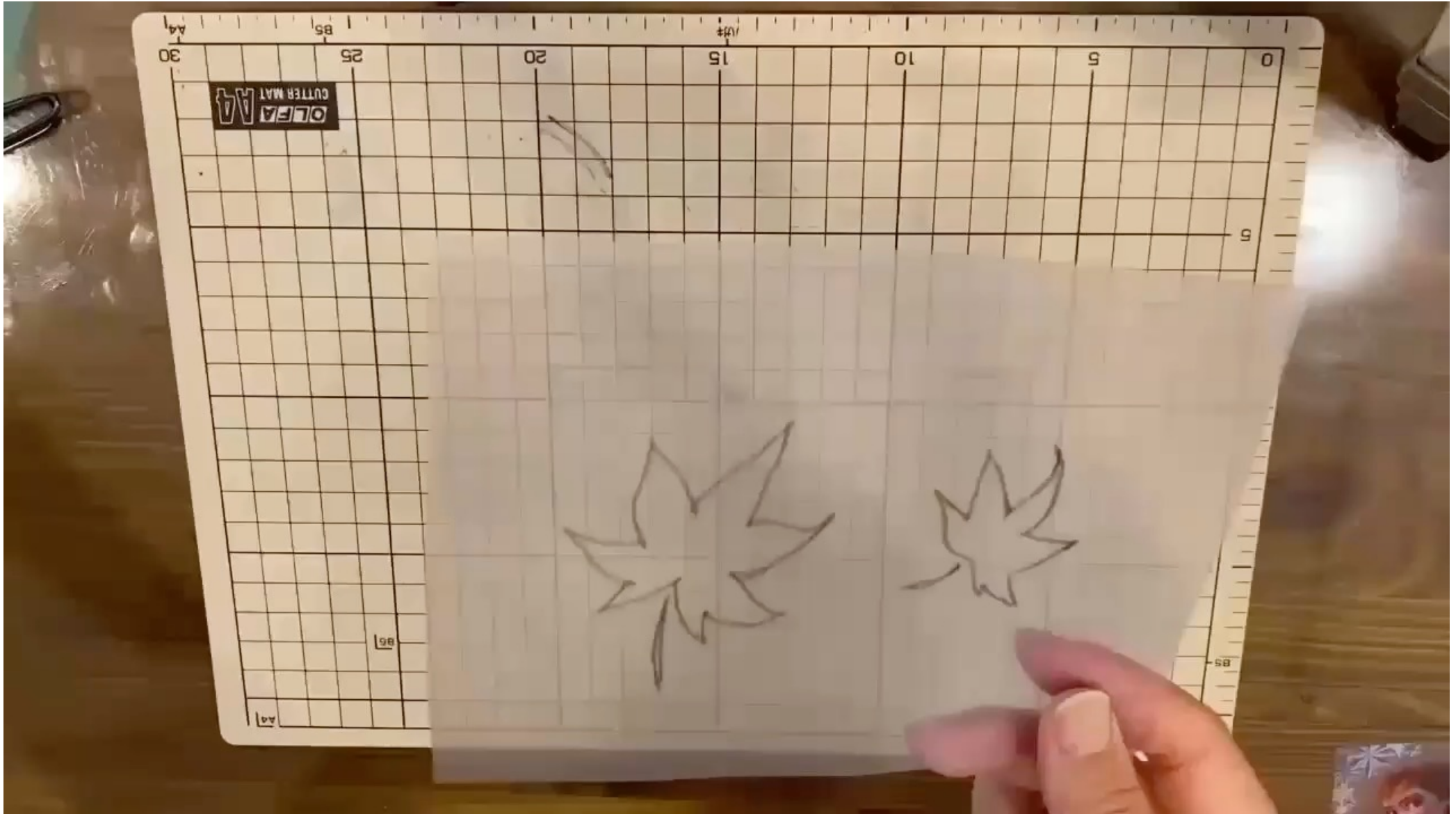
- 染める

- 型の外側から内側に向かって
小さな円を描くように動かしながら染める。

※刷毛で染める場合は垂直に刷毛を生地に置くように乗せる。









ステップアップ編

型紙を2枚以上使って染める





次回は・・・



A B C D E F G

H I J K L M N

O P Q R S T

U V W X Y Z

0 1 2 3 4

5 6 7 8 9

